

もくせい通信

木津川市立相楽台小学校

令和7年9月25日(木)

令和7年度 研究主題

ゴールに向かって主体的に学び続ける国語学習

～それぞれの想いを発信し、対話力を磨く児童～

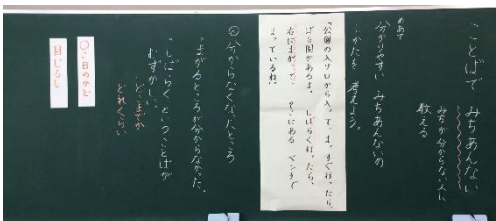
9月24日(水)2時間目、2年1組で国語科「ことばで みちあんない」の研究授業を行いました。

本単元は、実際に道案内の練習をすることを通して、相手に正しく伝わるように順序よく話すことや、大事なことを落とさないように聞くことをねらいとしています。

最初に聞いた道案内で、待ち合わせをするベンチの場所が4か所に分かれたことで、本時のめあてである「分かりやすいみちあんないのしかたを考えよう」が活きてきました。子どもたちは、分からなくなったところや、どうすれば正しく伝えることができるのかをグループで話し合い、「何個目の角を曲がる」「目印を伝える」ということが大事だと気付きました。



ここのベンチです。



授業研究会では、対話力を磨くためのグループワークの在り方や、発達の段階に応じて、身に付けていきたい話し方等について、協議を深めました。